



令和2年1月19日
さいたま市立三橋中学校
給食室発行

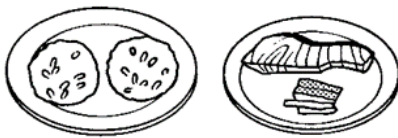
3学期が始まり、約1週間が経ちました。コロナウイルス感染症はなかなか収束せず、制約のある生活が続いています。現在、緊急事態宣言が発令されており、給食を喫食していることについて不安を感じている方もいるのではないのでしょうか。給食時間中の対策として、①手洗い・消毒をする②エンボス手袋を着用して、盛り付け作業をする③無言で給食を食べる、これら3つを徹底的に行っています。また、給食室でもコロナウイルス感染症予防対策だけではなく、食中毒や異物混入等の事故防止についても今後も徹底し、安心・安全な美味しい給食づくりを努めていきます。3学期もよろしくお願いします。

★1月は「全国学校給食週間」があります★

学校給食は、昭和16年から戦争のために中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、再開することになりました。昭和21年12月24日に、三都県（東京、神奈川、千葉）で実施することになり、同日に東京都内の小学校でウラ（アメリカの宗教団体等からなるアジア救援公認団体）からの給食用物資の贈呈式が行われました。その日を学校給食感謝の日と定めていましたが、その後、冬季休業と重ならない1月24日から30日までの間を「学校給食週間」としました。

給食の歴史

昭和22年



おにぎり 塩ざけ 菜の漬物

日本での最初の給食は山形県鶴岡町（現在は鶴岡市）の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちを対象に無料で提供されたものと言われています。

現在の給食



地場産物を活用したさまざまな献立がつけられています。

栄養バランスのとれた食事を通して、食に関する正しい知識や食習慣を身に付けられるほか、地域や国の伝統料理等を給食で取り入れ、食文化に対する理解や食への関心を高めています。

三橋中では「残食はどうなってしまうのか」というテーマで、給食委員会が残食についてお昼の放送で話す予定です。近年問題になっている「食品ロス」は、全員で取り組まなければ解決ができない問題です。日本の食品ロスは1年間で約643万トンです。食品メーカーや飲食店などからは約325万トンが、一般家庭からは約291万トンが発生しています。また、2017年の世界の食糧援助量は約380万トンであり、日本では世界の食糧援助量よりも多く食べ物が捨てられています。この機会に是非ご家庭でも考えてもらえたらと思います。

★図書コラボ給食★

○「ワンピース」サンジの焼き飯

登場人物であるサンジが物語の中で、お腹を空かせていた敵に作った料理を給食で再現しました。このシーンを読んだことのある生徒は、目を輝かせながら食べていました。



○「プーさん」はちみつりんごマフィン

プーさんが大好きなはちみつを使ったマフィンを経験した。はちみつの甘さとりんごの酸っぱさが丁度よく、子どもたちに好評なメニューでした♪

